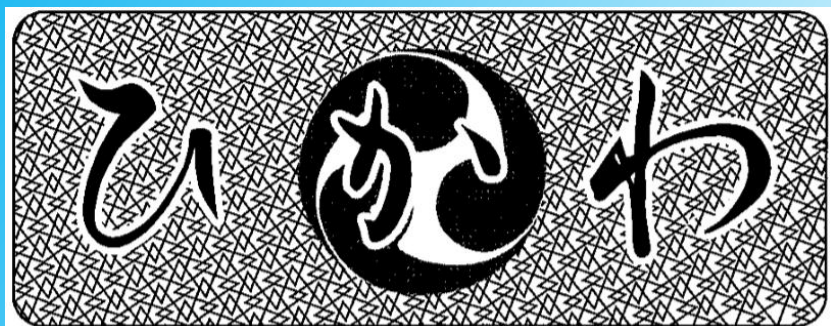




発行所

氷川神社社務所

日本唯一
気象神社

〒166-0003

東京都杉並区高円寺南4-44-19

電話 03-3314-4147

FAX 03-3315-0034

氷川神社
公式HP



気象神社
公式HP



高円寺氷川神社
公式 Twitter



令和七年

夏越の大祓斎行



茅の輪をくぐり半年間の穢れをきれいに落としました



6月30日(月)夏越の大祓を斎行しました。
大祓とは人が知らず知らずのうちに犯した
諸々の罪や過ち、心身の穢れを祓い清めるもの
です。大祓の「大」は「公」という意味があり、
個人だけのものではなく、日本国中の穢れを払
うという意味があります。大祓には「夏越の大
祓(なごしのおおはらえ)」と「年越の大祓(としこ
しのおおはらえ)」があります。
当日は氏子総代、氏子青年会を中心に、一般
の方々にもご参列戴きました。
ご参加された方々、人形(ひとがた)に託され
た全ての方々の弥栄、健康を祈念申し上げます。

夏越の大祓 奉納者 御芳名



氏子総代責任役員

渡辺忠司

氏子総代責任役員

田中寛

氏子総代 三上忠彦

(株)ノグチ不動産

氷川神社神幸祭委員長

由井宮太郎

東京高円寺大道芸振興協会

高円寺北庚申文化会

高円寺南氷川町会

高円寺南中央町会

高円寺南五丁目町会

パール商盛会

亀屋精肉店

中村司

ENJ不動産

田丸屋不動産

高円寺氷川神社

氏子青年会

内山健二郎・真李

(敬称略・順不同)

◆「パンサー向井の#ふらっと」 で気象神社が紹介されました

6月11日(水)TBSラジオ「パンサー向井#ふらっと」で気象神社が紹介されました。当日はお笑い芸人「ライス」の関町知弘さんが気象神社にお越しになり、禰宜の紺谷大進さんとトークを展開しました。気象神社の由緒、多くの会社・法人・団体が正式参拝(晴天祈願など)にお越しになると、気象神社境内での気象観測、気象予報士受験などについて話をさせて戴きました。

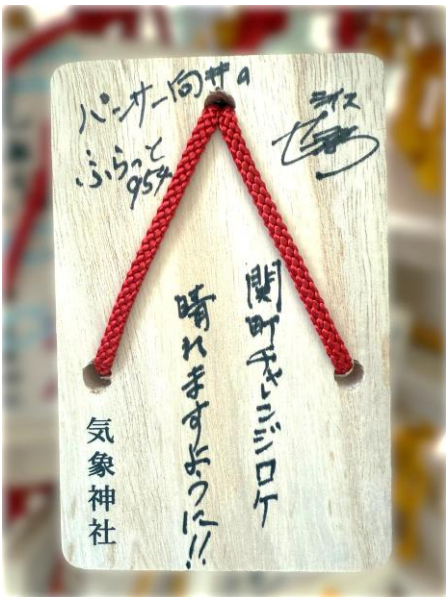


◆「DayDay」で気象神社が 紹介されました

6月24日(火)日本テレビ「DayDay」で気象神社が紹介されました。当番組の担当アナウンサーの澁谷善ヘイゼルさんは将来のことを考え、一念発起、気象予報士を目指すことになりました。今春から勉強を開始、日々全力で頑張られております。当日は8月の第64回気象予報士試験に向けて合格祈願のご参拝をされました。



気象神社(晴天祈願)



横浜七夕祭り実行委員会



横浜ランドマークタワー
69階スカイガーデン

★かつてのこうえんじん★

第十六話 高円寺の100年(戦前編)

狩野俊



「新宿校外の中央線沿線には三流作家が移り、世田谷方面には左翼作家が移り、大森方面には流行作家が移り(中略)関東大震災がきっかけで、東京も広がっていったように思った」井伏鱒二は『荻窪風土記』の中で、震災以降の人の移動で、東京が西に広がっていく様子をこう描いている。大正11年に高円寺駅が開業、翌年の大正12年の9月1日に関東大震災が起こる。それまでの高円寺は畑が広がる農村であった。

大正12年3月に高円寺耕地整理組合が結成され、桃園川周辺の湿地帯を大規模な土木工事を施し、大正15年には宅地としての土地の整理がほぼ終わる。しかし、その土地は戦後の昭和30年になっても大雨が降ると氾濫する、水はけの悪い一帯だった。それゆえに、地代も家賃も低く、様々な人たちが高円寺に住みつくことになった。

その様子は昭和10年に台湾人作家翁闢の小説『東京郊外浪人街 高円寺界隈』にこう描かれている。「今金食堂というのがある(中略)およそ東京中の小さな食堂の中で一ばん繁昌している食堂だと思われるほど、独身者のサラリーマンや学生や新聞売り子やチンドン屋などが蝶集する。此のちっぽけな食堂にもコスモポリタンの空気は漂う。中国人、朝鮮人、満州人、我が島の人等、顔付も言語も多種多様だ。ひよっとするとシャム人もタタール人も混じっているかもしれない」

戦前はエリートだったサラリーマンや大学生とともに、所得の低そうな人たちが席をならべ、また様々な外国人たちが交じり合い、呑みかつ食べている食堂の光景。さらにタイトルにある浪人街。浪人とは、古代においては戸籍にある土地を離れ、他国を流浪している人のことを呼んでいたという。まっろわぬ、漂泊者たちが、より集う土地と、台湾人作家の眼に移り小説の題名となったのだろう。昭和11年に発行された『東京市内商店街ニ関スル調査』という冊子がある。東京の主

主だった街の商店街を、名称、道幅、商店の構成、店舗数、店舗の開業年、顧客層、などを調べた資料だ。東京市内に17ある商店街の中に高円寺が入っている。中央線沿線では唯一の掲載だ。南北に走る道の幅はおよそ3間、5.5メートルとある。北の室町商工会は、いまの純情商店会で店舗数は33店。南の広小路商工会は、バル商店会でこちらは40店。長仙寺前の参道が広小路と呼ばれており、信仰とともに娯楽機能を併せ持っていた寺社前の参道から、南口の商店街が形成されたのだろう。これは高円寺を研究している藤原玄明氏の仮説を裏付ける商店会の名称とも言える。大正末年に開業した店が54店、昭和5年までは38店とある。比較的新しく都市化されたと言われている新宿でも明治年間の開業が34店、震災前の大正9年では20店とあり、当時の高円寺がいかにか新しくできた街か、というのがよくわかる。2軒間口の商家の家賃が新築は150円で高円寺は5分の1の30円、小さな資本で店を持つことができた。共同売り出しが行われ、商店街には街路灯が引かれていた。昭和12年12月18日午後2時20分撮影、省線高円寺駅踏切より南側と書かれた写真には、多くの通行人に溢れた商店街が撮影されている。ここ書かれた戦前の高円寺は、昭和20年5月25日の空襲で焼き払われる。駅からは南東に目をやれば神楽坂まで見えたという。広小路商工会の後進商盛会の昭和38年の機関紙に、困難を抱えながら、阿波踊りを続ける理由に「戦前の高円寺を取り戻せ」と書いてあった。

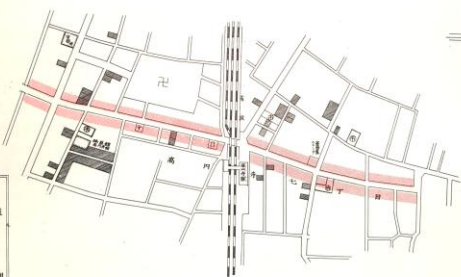
長仙寺前の広小路から高円寺の参道まで、東西に結んだ小道が通称夜店通りだ。昭和3年、この道に西部共働社という、今の生協運動の原点となる団体が事務所を構えた。協会で米や木炭などを大量に安価に購入し、組合員に配達する、というまさに今の生協の原点の活動を行っていた。

舗装された道路をトラックで配達するのではない。土の道を、時には雨でぬかるんだ道を、リアカーを引いた自転車です。一台の自転車に米を60キロ、その上の配達かごには酒、みそ、醤油、油、砂糖とぎっしり積み込み「遠くは吉祥寺まで運び配送した。その困難に耐えられたのは「私達人民が解放されること、また理想的な消費生活が出来ることを信じて疑わなかったから」という。英語、ドイツ語、ロシア語、などの外国語を教える会。編み物や洋裁の教室。校外へのピクニック。出産制限の知識を若い女性に伝える会。当時は人気の徳川無声を招いて行った映画上映会。また各地の労働争議の応援にも来り出した。

左翼思想をベースにしたこの団体の活動は、警察の取り締まりの対象となり、やがて解散させる法律が制定された。多様性、商店会、反権力。今も通じる高円寺のイメージは戦前にはすでに出来上がっていた。桃園川を周辺にある水はけの悪い低地が、これらの動きの中心になっていったと思われている。安いアパートに住む様々な国籍や職業の人たち。家賃が安いので新しく商売がしやすい街。金周りの悪い左翼団体も事務所をもてた通り。都心の高層ビルの飲食店のテナントが面白くないのは、新規の意気のいい店が出店できないから、ということを聞いた。新しいは、面白い、に通じるだろう。

この潮流が戦後どう繋がっていくのか、次回戦後編をご期待ください。

高円寺商店街見取図



高円寺商店街
昭和十年十二月十八日午後二時二十分撮影
(省線高円寺駅踏切より南側)

氷川神社 神幸祭

日時：令和7年8月23日(土)
10～13時(予定)

巡幸路：高円寺駅南北広場ロータリー



担ぎ手募集

対象：原則、氏子地域にお住まい、仕事をされている方、学んでいる方、前回担がれた方(応相談)

連絡先：

氷川神社・紺谷大進

☎03-3314-4147

Email : kontani.daishin@koenji-hikawa.com



氷川神社 例大祭

日時：8月24日(日) 10時

- ・エルガーハウスの子どもたちによる出店、キッチンカー、地元のお店などの出店、大道芸人による飴細工作りなどを予定しています。
- ・19時前後に閉門となります。(予定)



お知らせ

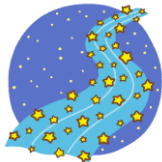
今月の花手水

【氷川神社】

- ・幻想的な三つ巴
- ・美しい織姫

【気象神社】

- ・壮大な天の川
 - ・鮮やかな彦星
- ※公式サイトに過去の御朱印を掲載していますので、ご覧ください。



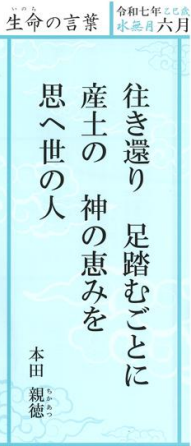
令和7年7月の御朱印



今月の御朱印

いのち 生命の言葉(令和七年七月)

家路の行き帰り、その都度、大地を踏みしめて生活するものとして大地の神様の恵みを忘れては決してならない



氷川神社では各種祈禱を承っておりますので、お気軽に神社までお問い合わせ下さい。また気象神社では晴天祈願をはじめとする各種祈願を承っております。(会社、法人、団体様のみが対象となります)

◆ご祈禱のご案内



お寺で、神社で、ヨガをしよう

寺 テラヨガ

◆「テラヨガ」開催中
毎週水曜日(19時)、氷川神社大広間でヨガ講座を開催中です。お気軽にお問い合わせください。

ひかわ232号をお送りしました。連日、日最高気温30度を超える「真夏日」、35度を超える「猛暑日」が各地で続いています。最近では気温に加えて、湿度や日射量も考慮した「暑さ指数」が発表され、熱中症への警戒も呼び掛けられています。

夏越の大祓も終わり、次はいよいよ夏の例大祭、神幸祭です。高円寺名物阿波踊りも同日開催、高円寺が最も熱くなる時期です。暑さに負けず準備をしていきます。今後とも宜しくお願い申し上げます。

編集後記



氏子地域の盆栽屋ラビアデッソ様が毎月盆栽を神社に届けてくれています。素敵な盆栽を毎月紹介していきます。

今月の盆栽

